

株式会社楠城屋商店



事例 **ボイラーと照明を一新！**
手作業にこだわる老舗の上手な省エネ！

- 所在地：鳥取市立川町4-116
- 代表取締役：浜崎昭匡
- 事業概要：1900(明治33)年創業、
醤油、味噌、酢の製造・販売



Q. 省エネ改修に取り組んだきっかけは。

A. ボイラーが設置から20年を迎え、メンテナンスなどのコストを踏まえ更新を検討していたところ、電気工事業者から補助金が活用できると聞いて、工場内の照明のLED化と併せて実施しました。

Q. 導入のメリットは。

A. 工事は2025年8月に完了しました。ボイラーは従来よりも一回り小さなものに見直したこともあり、シミュレーションでは年間で約18万円の燃料代削減につながりそうです。また照明は、工場内に61台あった蛍光灯をLEDに変更して51台に減らしましたが光量的には十分確保できていて、電気使用量は76%削減、年間の電気代は約12万円節約できる計算になります。木造の古い工場で照明工事は大変でしたが、作業員の労働環境の改善にもなり「変更してよかった」と感じます。



▲更新したボイラー



鳥取県・企業の脱炭素経営促進事業 / 県内企業の取り組み事例

トットリポーン!

支援制度やその他の事例は
ホームページをご確認ください

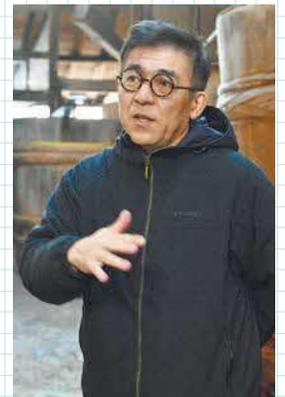


Q. 支援制度や補助金について教えてください。

A. 導入コストについては少しでも抑えたいと思っていたので、県と市併せて約5割の補助金が活用できたことは大きく、そのおかげで設置費用は6、7年で回収できそうです。補助金申請手続きについては、設置業者がサポートしてくれたので、負担は特に感じませんでした。

Q. 老舗の工場と最新機器との付き合い方は。

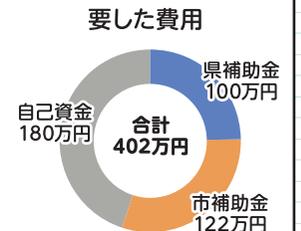
A. 業務を全て電動化することは中小企業にとってメリットがないと思います。大企業がやらない部分を手作業でやることで商品価値を見いだすことができます。それでも最新機器を使うことでコスト削減につながる部分もありますし、社員の労働環境改善にもなるので、古い工場の良さを生かしつつ、省エネ設備を上手く活用していきたいと思っています。



▲浜崎社長

改修による省エネ効果

ボイラー関係	年間の重油使用量	年間の費用
改修前(実績)	7,995L	88万円
改修後(推計)	6,353L	70万円
省エネ効果	1,642L↓	18万円↓
	21%↓	
照明関係	年間の電気使用量	年間の費用
改修前(実績)	3,092kWh	16万円
改修後(推計)	720kWh	4万円
省エネ効果	2,372kWh↓	12万円↓
	76.7%↓	



活用した補助金・支援制度：鳥取県 再エネ100宣言REAction推進事業補助金、
鳥取市 製造業再エネ・省エネ設備導入補助金、資源エネルギー庁 省エネルギー診断拡充事業

